特別講演

ZOOM Webinar 会場　2020 年 6 月 20 日　13:30 ～ 14:30
座長：見尾 光庸（就実大学薬学部薬効解析）

特別講演　**在宅医療における薬理学の役割**

○狭間 研至 [1,2,3]
[1]ファルメディコ株式会社、[2]医療法人嘉健会思温病院、[3]一般社団法人日本在宅薬学会

狭間研至（はざま　けんじ）
昭和44年　大阪生まれ
ファルメディコ株式会社　代表取締役社長
一般社団法人　日本在宅薬学会　理事長
医療法人嘉健会　思温病院　理事長・院長
熊本大学薬学部・熊本大学大学院薬学教育部 臨床教授
京都薬科大学　客員教授　北海道医療大学　客員教授
就実大学　客員教授
平成7年大阪大学医学部卒業後,大阪大学医学部付属病院,大阪府立病院（現　大阪急性期・総合医療センター）,宝塚市立病院で外科・呼吸器外科診療に従事。
平成12年大阪大学大学院医学系研究科臓器制御外科にて異種移植をテーマとした研究および臨床業務に携わる。平成16年同修了後、現職。
医師、医学博士、一般社団法人 日本外科学会 認定登録医。
現在は、地域医療の現場で医師として診療も行うとともに、一般社団法人　薬剤師あゆみの会・一般社団法人　日本在宅薬学会の理事長として薬剤師生涯教育に、多数の大学薬学部での非常勤講師として薬学教育にも携わっている。

著書：
薬剤師3.0（薬事日報社）
薬局マネジメント3.0（評言社）
薬局が変われば地域医療が変わる（じほう）
薬剤師のためのバイタルサイン（南山堂）
薬局3.0（薬事日報社）
外科医　薬局に帰る（薬局新聞社）
がんにならないのは、どっち（泰文堂）など
共著：
在宅医療のKEY&NOTE（薬ゼミファーマブック）
臨床調剤学（南山堂）
薬物治療学（化学同人）
新IT医療革命（アスキー新書）
ITが医療を変える
（アスキー・メディアワークス）など

一般演題【中枢神経】

P-01 意思決定異常に対する創薬標的：バレニクリンの有効性

○溝口 博之[1]、山田 清文[2]
[1]名古屋大・環境医学研究所・附属次世代創薬研究センター、[2]名古屋大・院医・医療薬学・附属病院薬剤部

P-02 半側性パーキンソン病モデルラットにおけるドパミン神経細胞死に対する5-アミノレブリン酸の抑制作用

○北村 佳久[1]、肱岡 雅宣[1]、北村 叶里[1]、柳沢 大治郎[2]、西村 周泰[3]、高田 和幸[3]、位田 雅俊[4]
[1]立命館大・薬・薬効解析、[2]滋賀医大・神経難病研、[3]京都薬大・統合薬科学、[4]岐阜薬大・薬物治療

P-03 ヒスタミンH_2受容体作用薬amthamineによる頭部外傷後のBlood-brain barrier破綻に対する抑制効果

○道永 昌太郎、園田 清美、井ノ上 彩奈、水口 博之
大阪大谷大・薬

P-04 睡眠導入薬によるイソフルラン麻酔の延長作用に及ぼす睡眠・覚醒状態の影響

○居場 嘉教、堀口 峻平、村居 宏樹、菅野 篤信
摂南大・理工

P-05 HMGB1 Translocation in Neurons after Ischemic Insult: Subcellular Localization in Mitochondria and Peroxisomes

○王 登莉、劉 克約、勅使川原 匡、和氣 秀徳、西堀 正洋
岡山大・院医歯薬

一般演題【末梢神経・血液・呼吸器・歯科】

P-06 炎症における末梢性グルタミン酸受容体を介した痛覚応答の増強

○益岡 尚由、中野 克哉、山下 優香、五十嵐 愛、田和 正志、何 強、村松 郁延、石橋 隆治
金沢医科大・医

P-07 活性酸素種による聴覚伝達障害機序の解明

○鈴木 俊章、陳 林、足立 直子、齋藤 尚亮、上山 健彦
神戸大・バイオシグナル研・分子薬理

P-08 三種混合麻酔はアドレナリンα_2刺激を介して血小板凝集を増強する

○近藤 一直、狩野 泰輝、菅沼 由唯、池本 和久、一瀬 千穂
藤田医科大・医・薬理

P-09 脳卒中易発症性高血圧ラットにおいて血小板容積とリンパ球数の変化は脳卒中発症を予測するバイオマーカーである

○西中 崇[1]、ハティポール オメル ファルク[1]、和氣 秀徳[2]、森 秀治[3]、西堀 正洋[2]、高橋 英夫[1]
[1]近畿大・医・薬理、[2]岡山大・院医歯薬・薬理学、[3]就実大・薬・生体情報学

P-10 肺線維症で増加するGrowth/differentiation factor 15 (GDF15) はマクロファージと線維芽細胞を活性化する

○竹之内 康広、嶋田 大雅、北風 圭介、坪井 一人、岡本 安雄
川崎医科大・医

P-11 口唇口蓋裂新規関連遺伝子の同定と機能解析

○安達 優華、白水 崇、小岩 純子、西村 有平
三重大・医・統合薬理学

一般演題【免疫・細胞・皮膚】

P-12 新規ビベンジル化合物による肥満細胞の脱顆粒に対する抑制機序

○浅井 遥[1]、青井 萌華[1]、熊澤 黎香[1]、宮坂 真由[1]、鈴木 萌[1]、高橋 美怜[1]、宮田 恵里花[1]、長島 史裕[2]、福石 信之[1]
[1]金城学院大・薬、[2]第一薬科大

P-13 L-アスパラギナーゼアレルギーにおける抗体産生へのシクロホスファミドの影響

○原（野上）愛[1]、堀 優太[1]、光畑 知恵[1]、梶山 光司[1]、須々木 健太郎[1]、嶋田 明[2]、見尾 光庸[1]
[1]就実大・薬・薬効解析学、[2]岡大病院・小児・血液腫瘍科

P-14 タバコ煙中の成分が Pdcd4 タンパク質発現量および遊走能に及ぼす影響とその機序

○西風 香那[1]、吉川 紀子[1]、陳 佳佳[1]、岩田 恵理子[1]、籠田 智美[2]、篠塚 和正[2]、中村 一基[1]
[1]武庫川女子大・薬・薬理学Ⅰ、[2]武庫川女子大・薬・薬理学Ⅱ

P-15 AGEsの共存がDAMPsの作用に与える影響の検討

○渡邊 政博[1]、豊村 隆男[1]、和氣 秀徳[2]、劉 克約[2]、勅使川原 匡[2]、高橋 英夫[3]、西堀 正洋[2]、森 秀治[1]
[1]就実大・薬、[2]岡山大・院医歯薬・薬理学、[3]近畿大・医・薬理学

P-16 New compounds for atopic dermatitis promote selective AHR-induced Filaggrin transcription in NHEK cells

○樋口 牧郎、タムケオ ディーン、成宮 周
京都大・院医・創薬医学講座

学生優秀発表賞（YIA）- 1 【中枢神経①】

Y-01 母体のDHA摂取による仔の熱性けいれん感受性の低下

○川野 真慈[1]、馬場 直道[2]、対馬 忠広[2]、三澤 嘉久[2]、石原 康宏[1]
[1]広島大・大学院総合科学研究科・生体機能化学、[2]備前化成株式会社・油脂開発部

Y-02 RhoキナーゼRho阻害剤FasudilはMK-801誘発性行動障害を改善する

○髙瀬 冴子[1]、澤幡 雅仁[1]、劉 玥[1]、祖父江 顕[1]、宮川 泰宏[1]、永井 拓[1]、鍋島 俊隆[2]、山田 清文[1]
[1]名古屋大・院医・医療薬学・病院薬剤部、[2]藤田医科大・院医療科学・先進診断システム探索

Y-03 カルシトニン遺伝子関連ペプチド（CGRP）脳室内投与によるマウスの恐怖記憶保持への影響

○下西 陽大[1]、安藤 浩輝[2]、橋川 直也[3]、橋川 成美[4]
[1]岡山理科大学大学院・理学研究科、[2]岡山理科大学、[3]岡山理科大学、[4]岡山理科大学

Y-04 カルシトニン遺伝子関連ペプチド(CGRP)が起こす恐怖記憶抑制作用におけるProtein kinase Dの関与

○奥島 千裕[1]、森本 光未加[2]、橋川 直也[3]、橋川 成美[4]
[1]岡山理科大学大学院・理学研究科、[2]岡山理科大・理、[3]岡山理科大学大学院・理学研究科、[4]岡山理科大学大学院・理学研究科

Y-05 ニコチンによる認知記憶増強作用の神経メカニズム

○江崎 博仁[1]、深尾 朱里[2]、伊藤 志穂[1]、尾崎 翔[1]、堂本 将輝[1]、泉 翔馬[1]、笹瀬 人暉[1]、西谷 直也[1,2]、出山 諭司[1,2]、金田 勝幸[1,2]
[1]金沢大・院薬・薬理、[2]金沢大・薬・薬理

学生優秀発表賞（YIA）- 2【中枢神経②】

Y-06 マウスへの微小粒子状物質（PM2.5）曝露による炎症誘発と脳梗塞予後の増悪

○田中 美樹[1]、伊藤 康一[2]、鍋谷 悠[3]、石原 康宏[1]
[1]広島大・大学院統合生命科学・生命医科学、[2]徳島文理大・香川薬・薬物治療学、[3]宮崎大・工学教育研究・環境応用化学

Y-07 HMGB1 中和抗体の局所投与はマウス遠位眼窩下神経慢性絞扼により発生する顔面感覚異常の発症を予防する

○河内 貴弘[1,2]、中村 庸輝[1]、中島 一恵[1]、劉 克約[3]、和氣 秀徳[3]、西堀 正洋[3]、入舩 正浩[2]、森岡 徳光[1]
[1]広島大・院医歯薬保健・薬効解析科学、[2]広島大・院医歯薬保健・歯科麻酔学、[3]岡山大・院医歯薬・薬理学

Y-08 脊髄性筋萎縮症におけるミクログリアの役割

○長内 大樹、安藤 栞、高橋 慶、中村 信介、嶋澤 雅光、原 英彰
岐阜薬科大・薬・薬効解析学研究室

Y-09 神経細胞のレプチン抵抗性に対するグリア細胞由来 adenosine の影響

○和田 萌々恵[1]、松浦 武典[1]、細井 徹[2]、柳瀬 雄輝[3]、松﨑 周[3]、杉山 礼隆[3]、児玉 尚士[3]、小澤 光一郎[3]
[1]広島大・薬・治療薬効学研究室、[2]山陽小野田市立山口東京理科大学・薬・臨床薬理学、[3]広島大・医系科学研究科・治療薬効学研究室

Y-10 肥満病態時のレプチン抵抗性形成へのグリア細胞の役割

○佐藤 颯斗[2]、細井 徹[3]、長谷川 由貴[2]、松村 奈美[2]、柳瀬 雄輝[1]、小澤 光一郎[1]
[1]広島大・院医系科学・治療薬効、[2]広島大・薬・治療薬効、[3]山口東京理科大・薬・臨床薬理

学生優秀発表賞（YIA）- 3【中枢神経③】

Y-11 嗜癖／嫌悪の調節における背側縫線核セロトニン神経の役割の解明

○永井 佑茉、高山 海都、安藤 千紘、永安 一樹、白川 久志、金子 周司
京都大・院薬

Y-12 セロトニントランスポーターの機能制御におけるE3ユビキチンリガーゼHRD1の役割

○田口 慧[1]、本池 芹佳[1,2]、金子 雅幸[3]、村川 青矢[1]、原田 佳奈[1]、秀 和泉[1]、田中 茂[1]、酒井 規雄[1]
[1]広島大・院医歯薬保健・神経薬理学、[2]広島大・院医系科学・歯科麻酔学、[3]広島大・院医系科学・分子細胞情報学

Y-13 視床後外側腹側核に存在するニコチン性アセチルコリン受容体刺激による神経伝達物質放出とその疼痛抑制作用への関与の検討

○小野 晴菜[1]、金城 達弥[1]、御船 正樹[1]、佐治 英郎[2]、上田 真史[1]
[1]岡山大・院医歯薬、[2]京都大・院薬

Y-14 Behavioral and morphological abnormalities in a mouse model with copy number variation of the vasoactive intestinal peptide receptor VIPR2 gene

○陳 露[1]、竹内 修斗[2]、山田 めゐ[1]、宮岡 辰典[1]、山口 拓海[1]、中澤 敬信[2,3,4]、中川 晋作[1,5]、橋本 均[2,6,7,8,9]、吾郷 由希夫[1,5,10]
[1]大阪大・院薬・薬剤、[2]大阪大・院薬・神経薬理、[3]大阪大・院歯・薬理、[4]東京農業大・バイオサイエンス・動物分子生物、[5]大阪大・国際医工情報センター、[6]大阪大・院連合小児発達、[7]大阪大・データビリティフロンティア機構、[8]大阪大・先導的学際研究機構、[9]大阪大・院医・分子医薬、[10]広島大・院医・細胞分子薬理

Y-15 社会的敗北ストレスの強さに応じた神経活動変化のイメージング解析

○平戸 祐充[1]、前田 駿介[1]、勢力 薫[1,2]、笠井 淳司[1]、橋本 均[1,3,4,5,6]
[1]大阪大・院薬・神経薬理、[2]大阪大・国際共創、[3]大阪大・院連合小児発達、[4]大阪大・データビリティフロンティア機構、[5]大阪大・先導的学際研究機構、[6]大阪大・院医・分子医薬

学生優秀発表賞（YIA）- 4【免疫・骨・末梢神経】

Y-16 ステロイド抵抗性喘息におけるIL-5の役割

○霜良 勇人、橋本 健之介、美奈川 茉里、阿野 理菜、松田 将也、北谷 和之、奈邉 健
摂南大・薬・薬効薬理

Y-17 Hillの式を利用した破骨細胞分化の数理モデリングおよび破骨細胞分化メカニズムの解析

○泉 和弥[1,2]、安冨 栄人[1,2]、竹入 雅敏[3]、野間 成人[3]、肥田 重明[1]、青山 峰芳[1]、朝霧 成挙[1,3,4]
[1]名古屋市立大・院薬、[2]京都大・ウイ再研、[3]京都大・院医、[4]山口大・院医

Y-18 閉経後骨粗鬆症モデルマウスに対する補中益気湯含有食の効果について

○落合 信介[1]、山田 孝紀[1]、徳村 和也[1]、尾崎 翔[2]、金田 勝幸[2]、檜井 栄一[1]
[1]岐阜薬科大・薬理、[2]金沢大・院薬・薬理

Y-19 アトルバスタチンによる老化予防効果の可能性について

○林 樹奈[1]、吉井 美智子[2]、小澤 光一郎[2]
[1]広島大・薬・治療薬効学研究室、[2]広島大・院医・治療薬効学

Y-20 大規模医療情報および遺伝子発現データベースを活用した薬剤性末梢神経障害に対する予防薬の探索

○新村 貴博[1]、座間味 義人[1,2]、川尻 雄大[3]、合田 光寛[2]、岡田 直人[2]、萱野 純史[2]、八木 健太[4]、中馬 真幸[4]、福島 圭穣[5]、石澤 有紀[6]、池田 康将[7]、小林 大介[3]、藤野 裕道[5]、島添 隆雄[3]、石澤 啓介[1,2]
[1]徳島大・院医歯薬・臨床薬理、[2]徳島大学病院・薬剤部、[3]九州大・院薬・臨床育薬、[4]徳島大学病院・総合臨床研究センター、[5]徳島大・院医歯薬・生命薬理、[6]徳島大・AWAサポートセンター、[7]徳島大・院医歯薬・薬理学

学生優秀発表賞（YIA）- 5【細胞・細胞内小器官】

Y-21 光誘発角膜上皮細胞障害に対する新規ラジカルスカベンジャーの保護作用

○石田 紘大[1]、矢古宇 智弘[2]、大津 航[1]、中村 信介[2]、嶋澤 雅光[1,2]、角崎 英志[1]、原 英彰[1,2]
[1]岐阜薬科大・バイオメディカルリサーチ講座、[2]岐阜薬科大・薬効解析

Y-22 遊離アミノ酸量の定量的経時変化解析によるアミノ酸トランスポーター阻害効果の検討

○西窪 航[1]、大垣 隆一[1]、岡西 広樹[1]、奥田 傑[1]、金井 好克[1,2]
[1]大阪大・院医・生体システム薬理、[2]大阪大・先端的学際研究機構・生命医科学フロンティア研究部門

Y-23 分裂酵母モデル系を用いたα−シヌクレイン凝集体形成メカニズムの探索とメンブレントラフィックの関わり

○杉本 恵崇、高崎 輝恒、佐藤 亮介、濱田 耕造、杉浦 麗子
近畿大・薬・分子医療・ゲノム創薬学研究室

Y-24 DEAD−box 型 RNA helicase DDX3/Ded1 によるPKC/MAPKシグナル抑制機構の解析

○冨本 尚史、神田 勇輝、Chun An Tsai、佐藤 亮介、高崎 輝恒、杉浦 麗子
近畿大・薬・分子医療・ゲノム創薬学

Y-25 ロテノン誘発ミトコンドリア障害に対する小胞体ストレスの関与

○青山 八曇、稲垣 賢、岩田 悠暉、中村 信介、嶋澤 雅光、原 英彰
岐阜薬科大・薬・薬効解析

学生優秀発表賞（YIA）- 5【心血管・腎泌尿器・消化器】

Y-26 フルオロロキソプロフェンの小腸粘膜におよぼす影響

○増田 侑哉[1]、加藤 大輔[1]、山川 直樹[2]、水島 徹[3]、天ヶ瀬 紀久子[1]
[1]立命館大・薬・病態薬理学研究室、[2]就実大・薬、[3]LTTバイオファーマ

Y-27 フッ素原子に着目した胃潰瘍を起こしにくいNSAIDsの抗炎症効果に関する検討

○藤井 悠太[1]、寺本 恵実菜[1]、山川 直樹[2]、田坂 祐一[1]
[1]就実大・薬・臨床薬学研究室、[2]就実大・薬・医薬品合成化学研究室

Y-28 薬剤誘発性急性大動脈疾患に対するケルセチンの抑制効果

○近藤 正輝[1,2]、石澤 有紀[3]、合田 光寛[1]、鈴木 琴子[2]、松岡 里英[1,2]、座間味 義人[1,2]、中馬 真幸[4]、池田 康将[5]、石澤 啓介[1,2]
[1]徳島大学病院・薬剤部、[2]徳島大・院医歯薬・臨床薬理、[3]徳島大・AWAサポートセンター、[4]徳島大学病院・総合臨床研究センター、[5]徳島大・院医歯薬・薬理学

Y-29 5-HT_3受容体拮抗薬併用によるシスプラチン誘発腎機能障害に与える影響

○神田 将哉[1,2]、合田 光寛[1,2]、吉岡 俊彦[1,2]、吉田 愛美[2]、新村 貴博[2]、石澤 有紀[3]、座間味 義人[1,2]、中馬 真幸[4]、濱野 裕章[1]、岡田 直人[1]、池田 康将[5]、桐野 靖[1]、中村 敏己[1]、石澤 啓介[1,2]
[1]徳島大学病院・薬剤部、[2]徳島大・院医歯薬・臨床薬理、[3]徳島大・AWAサポートセンター、[4]徳島大学病院・総合臨床試験研究センター、[5]徳島大・院医歯薬・薬理学